



シラオイエンレイソウ

科名／ユリ科

学名／*Trillium hagai*

和名／白老延齡草

オオバナとミヤマの自然交配種で、遺伝学的には3倍体と6倍体のものがある。その特徴は雄しべが雌しべより短く、葯が花糸の約2倍。花は横向きに咲き、株立ちの傾向がある。花弁と葉の縁が波状になる。道南、道北、道央の6倍体のは自家受粉や昆虫による他殖もあり、えりも町のものは袋かけにより自家和合で種ができることが北海道大学の大原教授によって最近証明されている。この画は6倍体のものである。

花期：5～6月

分布：北海道

文・画：船迫 吉江（さっぽろ植物画同好会）

参考文献：絵とき検索表Ⅱ、花の自然史—美しさの進化学